

**ONKYO®**

D/Aコンバーター

# ***DAC-1000***

**取扱説明書**

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。  
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、  
正しくお使いください。  
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、  
オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に  
保管してください。

はじめに ..... 2

接続をする ..... 9

基本操作 ..... 14

操作する（応用編）..... 16

サンプリング周波数を変換する .. 18

その他 ..... 19

# 主な特長

- ・新回路 ニュー サーキット テクノロジー 搭載
- ・USB オーディオデバイス 192 kHz / 32bit 対応
- ・AES/EBU 192kHz/24bit 対応
- ・トロイダルトランスをコアにした強力な電源回路搭載
- ・表示部に低ノイズのスタティック点灯方式採用
- ・新たに正確な信号を作り出し、デジタル信号のゆらぎを排除する PLL (Phase Locked フェイス ロックド ループ) 方式ジッタークリーナー搭載
- ・SRC (Sampling Rate Converter) サンプリング レート コンバーター 機能搭載
- ・5mm 厚アルミフロントパネル採用
- ・1.6mm 厚スチールフラットシャーシ採用
- ・TI 社製の Burr-Brown 32bit/192kHz D/A バー ブラウン コンバーター (PCM1795) を各チャンネルに搭載
- ・アナログバランスアウト搭載
- ・表示部ディマー機能

# テクノロジー

## New circuit technology (ニュー サーキット テクノロジー)

デジタル音源の登場によりオーディオで重要な SN 比の数値は飛躍的に向上しました。しかし、レコードに代表されるアナログ音源などは聴感上の SN においてデジタル音源と比べても決して劣っていないという現実は良く知られています。

一般的に SN 比とは音の出ている時と出していない時の比であり、音の出ている時に発生するノイズは考慮されておりません。

オンキヨーはこの音の出ている時の SN (動的 SN) に古くから着目し、研究を重ねてきました。そして可聴帯域外ノイズが聞こえるメカニズムにより、音楽再生時の動的 SN が悪化し、聴感上の SN も悪化することを突き止めました。

人の耳では 20kHz 以上の音が聞こえませんが、それ以上の周波数でも異なる信号が重なるとビート (唸り) として聞くことができることは良く知られています。

アナログ音源時代は可聴帯域外には大きな信号は入っていませんでした。しかしデジタル音源になることで、可聴帯域をこえる録音が可能となり、発生したビートが可聴帯域内に入り込んで来ているのです。

New circuit technology (ニュー サーキット テクノロジー) は高周波で発生するビートを可聴帯域内に入らないようにした新しい考え方を取り入れています。

## USB を利用して PC の音声を再生

DAC-1000 の後面パネルに備わった USB 端子に PC を接続して、192kHz/32 ビットの HD 音声形式のファイルを再生できます\*。

\* PC と接続して音声を再生するには、弊社 Web サイトから専用のソフトウェアをダウンロードする必要があります。

## PLL (Phase Locked フェイス ロックド ループ) 方式ジッタークリーナー搭載

ジッターとは、デジタル / アナログ変換時に発生する不要な副作用であり、デジタル信号の時間領域の変化によって生じます。

PLL 方式ジッタークリーナー技術は、デジタル信号の入力と出力の位相を比較し、正確なクロック波形を生成することによって、ジッターを低減する技術です。

この技術によって、デジタル信号の処理精度が向上し、音質の大幅な向上を体感できます。

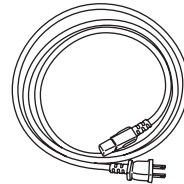
# 目次

はじめに	
主な特長	2
テクノロジー	2
付属品	3
安全上のご注意	4
前面パネルと後面パネル	7
前面パネル	7
表示部	7
後面パネル	8
接続をする	
接続をする	9
接続に必要なケーブルの名称と	
接続端子の形状	9
電源コードを接続する	10
パソコンをUSB接続する	11
オンキヨー製ドックを接続する	11
CDプレーヤーを接続する	12
AVコントローラーを接続する	13
基本操作	
基本操作	14
本機の電源を入れる	14
本機の電源を切る	14
入力ソースを選択する	14
表示部の明るさを変える	15
ASb（自動スタンバイ）を設定する	15
操作する（応用編）	
パソコンの音楽を再生する	16
USBドライバをインストールする	16
パソコン内の音楽ファイルを	
再生する	16
オンキヨー製ドックを使う	17
iPodに保存されている	
音楽ファイルを再生する	17
オンキヨー製ドック	17
DOCKセレクターに切り換える	17
サンプリング周波数を変換する	
サンプリング周波数を変換する	18
サンプリング周波数を変換する	18
表示を切り換える	18
その他	
困ったときは	19
主な仕様	21
修理について	23

# 付属品

本機に以下の付属品が含まれているかどうかを確認してください。（ ）内の数字は個数を表します。

電源コード (2m).....(1)



取扱説明書（本書）.....(1)

保証書.....(1)

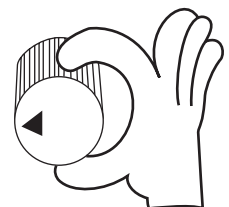
オンキヨーご相談窓口・修理窓口の  
ご案内.....(1)

ユーザー登録カード.....(1)

カタログおよび包装箱などに表示されている、型名の最後にあるアルファベットは、製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法は同じです。

## 音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。



# 安全上のご注意

安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

## 「警告」と「注意」の見かた

間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。



**警告**

誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。



**注意**

誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

## 絵表示の見かた

△記号は「ご注意ください」という内容を表しています。



高温注意



感電注意

⊘記号は「～してはいけません」という禁止の内容を表しています。



分解禁止



ぬれ手禁止

●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。



電源プラグをコンセントから抜く



必ずする

## 警告

### 故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- ・煙が出ている、変なにおいや音がする
  - ・本機を落としてしまった
  - ・本機内部に水や金属が入ってしまった
- このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

### カバーははずさない、分解、改造しない



分解禁止

火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

### 接続、設置に関するご注意



禁止

- ・押し入れや本箱など通気性の悪い狭い所に設置して使用しない  
(本機の天面、横から 2cm 以上、背面から 5cm 以上のスペースをあける)
- ・逆さまや横倒しにして使用しない
- ・布やテーブルクロスをかけない
- ・じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

### ■ 水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない



水場での使用禁止

- 本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。
- ・風呂場など湿度の高い場所では使用しない
  - ・調理台や加湿器のそばには置かない
  - ・雨や雪などがかかるところで使用しない
  - ・本機の上に花瓶、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない



水濡れ禁止



# 警告

## 電源コード・電源プラグに関するご注意

### ■ 電源コードを傷つけない



禁止

- ・電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードが本機の下敷にならないようにする
  - ・傷つけたり、加工したりしない
  - ・無理にねじったり、引っ張ったりしない
  - ・熱器具などに近づけない、加熱しない
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

### ■ 電源プラグは定期的に掃除する



必ずする

電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

## 使用上のご注意

### ■ 本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない



禁止

- 火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- ・本機の通風孔から異物を入れない



# 注意

## 接続、設置に関するご注意

### ■ 不安定な場所や振動する場所には設置しない



禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

### ■ 本機の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かない



禁止

バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。また、本機に乗ったりしないでください。

### ■ 配線コードに気をつける



注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

## 電源コード・電源プラグに関するご注意

### ■ 表示された電源電圧（交流100ボルト）で使用する



必ずする

本機を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

### ■ 電源コードを束ねた状態で使用しない



禁止

発熱し、火災の原因となることがあります。

### ■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない



禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。プラグを持って抜いてください。

## ⚠ 注意

### ■ 長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグ  
をコンセント  
から抜く

絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

### ■ 電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込む



禁止

差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

### ■ めれた手で電源プラグを抜き差ししない



めれ手禁止

感電の原因になることがあります。

### ■ お手入れの際は電源プラグを抜く



電源プラグ  
をコンセント  
から抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

## 移動時のご注意

### ■ 移動時は電源プラグや接続コードをはずす



電源プラグ  
をコンセント  
から抜く

コードが傷つき火災や感電の原因になります。

### ■ 本機の上にものを乗せたまま移動しない



禁止

本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。落下や転倒してけがの原因になります。

### ■ 機器内部の点検について

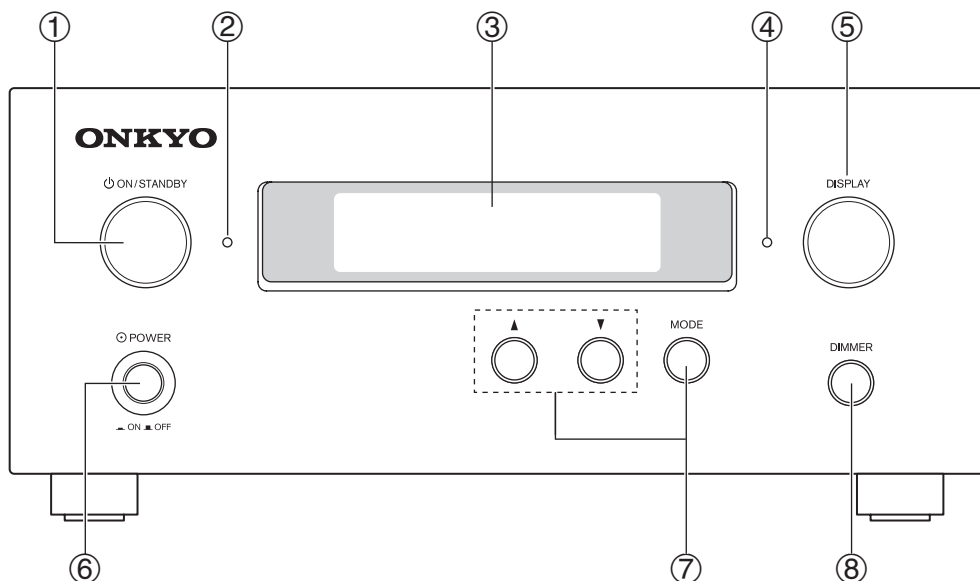
お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をおすすめします。本機の内部にほこりがたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

### ■ 本機のお手入れについて

- ・表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- ・シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

# 前面パネルと後面パネル

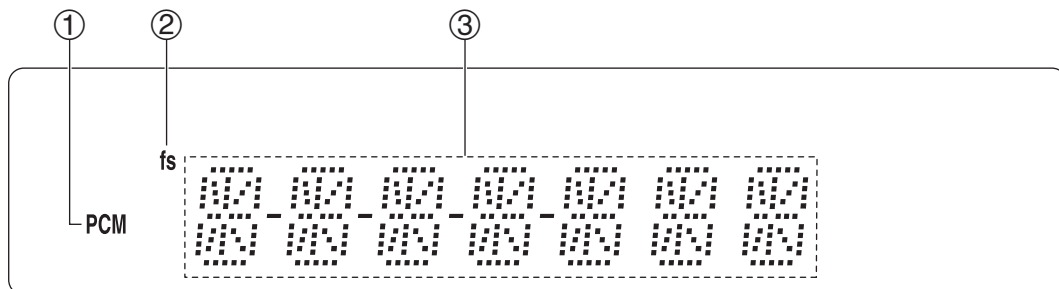
## 前面パネル



詳細については、( ) 内のページをご覧ください。

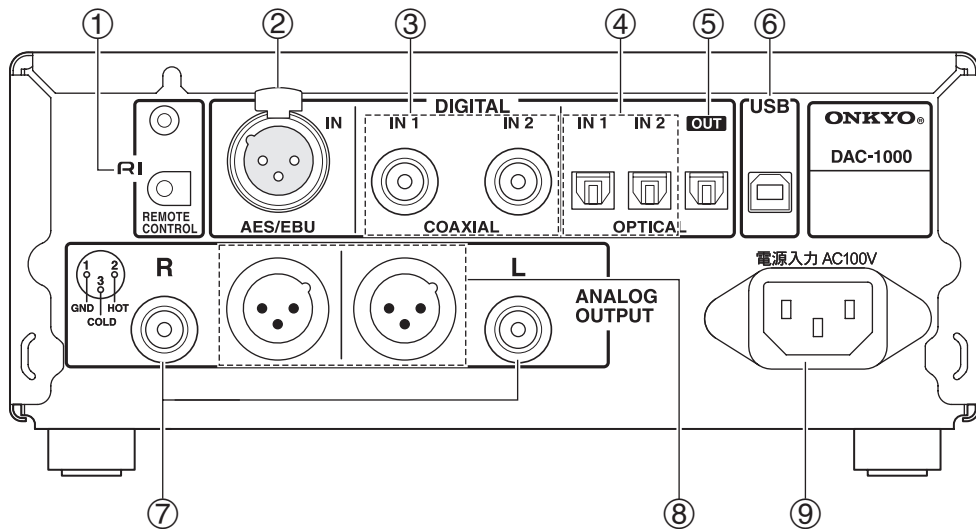
- ① **ON/STANDBY** ボタン (→ 14)  
電源のオン / スタンバイを切り換えます。
- ② **STANDBY LED** (→ 14)  
スタンバイ状態のときに点灯します。
- ③ **表示部**
- ④ **DISPLAY OFF LED** (→ 15)  
表示部を消灯した場合、点灯します。  
ASb (Auto Standby) 設定 (→ 15) を ON に設定している場合に、自動的にスタンバイ状態になる直前の 30 秒間、DISPLAY OFF LED が点滅します。
- ⑤ **DISPLAY** ボタン (→ 18)  
表示を切り換えます。
- ⑥ **POWER** スイッチ (→ 14)  
本機の主電源を入 / 切します。
- ⑦ **MODE** ボタン (→ 15、18)  
次の順にモード切り換えを行います：  
「セクター」「サンプリング周波数変換」「ASb (自動スタンバイ)」  
▲/▼ ボタン (→ 14、18)  
各モードの設定を切り換えます。
- ⑧ **DIMMER** ボタン (→ 15)  
表示部の明るさを切り換えます。

## 表示部



詳細については、( ) 内のページをご覧ください。

- ① **PCM 表示** (→ 14)  
デジタル信号を検出している場合に点灯し、検出していない場合は点滅します。
- ② **fs 表示** (→ 18)  
サンプリング周波数を表示している場合に点灯します。
- ③ **多目的表示部** (→ 18)  
入力やセクターを表示します。**DISPLAY** ボタンをくり返し押すと、入力されている信号の入力 fs (サンプリング周波数)、出力 fs を表示します。



- ① **RI REMOTE CONTROL 端子**  
リモート コントロール  
 RI 端子付きオンキョー製品と接続し、連動させる端子です。
- ② **DIGITAL AES/EBU 入力端子**  
デジタル  
 CD プレーヤーなど、バランス出力端子を持つデジタル再生機器を接続します。
- ③ **DIGITAL COAXIAL 入力端子**  
コアキシャル  
 CD プレーヤーなど、COAXIAL (同軸) 出力端子を持つデジタル再生機器を接続します。
- ④ **DIGITAL OPTICAL 入力端子**  
オプティカル  
 CD プレーヤーなど、OPTICAL (光) 出力端子を持つデジタル再生機器を接続します。









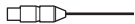

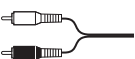
- ⑤ **DIGITAL OPTICAL 出力端子**  
**OPTICAL** (光) 入力端子を持つアンプ機器を接続します。  
 本機にデジタル入力された信号がスルー出力されます。
- ⑥ **USB 端子**  
 パソコンを接続します。  
 パソコンで再生した音楽ファイルを、出力します。
- ⑦ **アナログ音声出力端子**  
 アナログ音声入力端子を持つプリアンプなどを接続します。
- ⑧ **バランス出力端子 (XLR コネクター)**  
 バランス入力端子を持つプリアンプなどと接続します。
- ⑨ **電源入力 AC100V 端子**  
 付属の電源コードを接続します。

接続については「接続をする」をご覧ください (→ 9 ~ 13)。



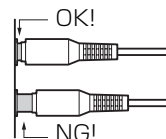
# 接続をする

## 接続に必要なケーブルの名称と接続端子の形状

バランス型 AES/EBU ケーブル			音声専用のデジタル転送規格に準拠した AES/EBU ケーブルを用いてデジタル音声信号を伝送します。バランスタイプの AES/EBU ケーブルは長いケーブル引き回しでもノイズを最小限に抑えるため長距離の伝送に適しています。
USB デジタル ケーブル			USB デジタル接続でデジタル音声を楽しめます。本機は USB 規格 Rev 2.0 HS に準拠しています。A-B タイプ USB ケーブルを使用してください。PCM 入力最大のサンプリング周波数は、192kHz/32bit、2 チャンネルです。
同軸デジタルケーブル (COAXIAL)		 オレンジ	PCM デジタル音声を楽しむことができます。PCM 入力信号で利用できるサンプリング周波数は、最大 192kHz/24bit、2 チャンネルです。
光デジタルケーブル (OPTICAL)			PCM デジタル音声を楽しむことができます。PCM 入力信号で利用できるサンプリング周波数は、最大 96kHz/24bit、2 チャンネルです。
バランス型 XLR ケーブル		 ANALOG OUTPUT	アナログ音声信号を伝送します。バランスタイプの XLR ケーブルは長いケーブル引き回しでもノイズを最小限に抑えるため長距離の伝送に適しています。
オーディオ用 ピンケーブル		L 白 R 赤	アナログ音声信号を伝送します。

### お知らせ

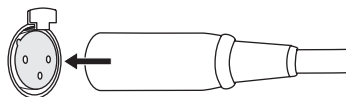
- ・プラグは奥までしっかり押し込んでください（ノイズや誤動作の原因になります）。
- ・ケーブル同士の接触を防ぐため、音声ケーブルや電源・スピーカーケーブルが接近しないようにしてください。
- ・本機の光デジタル入力端子は、すべてとびらタイプですので、とびらをそのまま奥へ倒すようにして、光デジタルケーブルを差し込んでください。
- ・光デジタルケーブルはまっすぐ抜き差ししてください。ななめに抜き差しすると、とびらが破損する場合があります。
- ・PCM 以外のデジタル音声信号を入力しないでください。



## バランス XLR (AES/EBU、アナログ) 入出力について

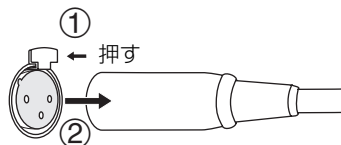
### 入力端子にケーブルを接続する

ピンの位置を合わせてカチッと音がするまで端子を差し込みます。ケーブルを軽く引っ張り、完全に接続されているかどうか確認してください。

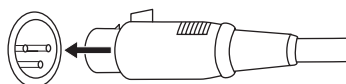


### 入力端子からケーブルをはずす

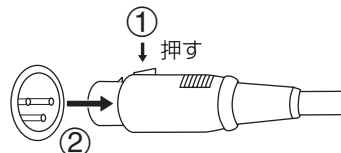
コネクタのボタンを押しながら、矢印の方向にケーブルを引っ張ります。



### 出力端子にケーブルを接続する

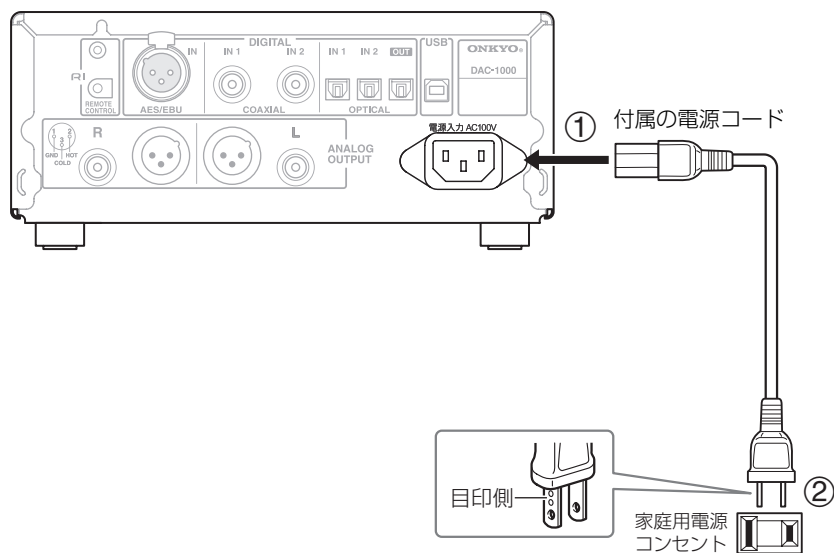


### 出力端子からケーブルをはずす



## 電源コードを接続する

本機



- 1 すべての接続が完了していることを確認します。
- 2 本機の主電源が切れていることを確認します。
- 3 付属の電源コードを、本機の**電源入力 AC100V** 端子に接続します。
- 4 電源コードを家庭用電源コンセントに接続します。

### より良い音で聴いていただくために

本機の電源コンセントは極性の管理がされています。電源プラグの目印側を、家庭用電源コンセントの溝の広い方に合わせて差し込んでください。家庭用電源コンセントの溝の長さが同じ場合は、どちらを接続してもかまいません。

### Q ヒント

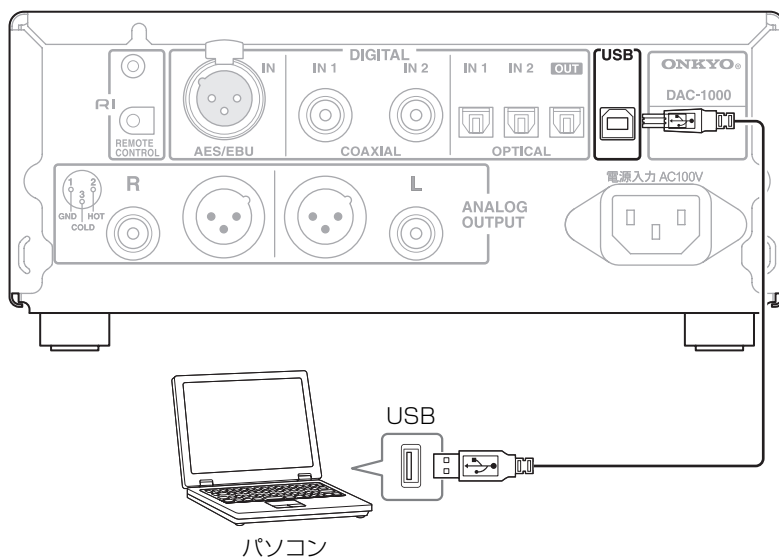
- ・ノイズを抑えるため、信号ケーブルと電源ケーブルは一緒に束ねず、お互いに離して配線してください。
- ・本機は扱う信号が微弱であるため、他のオーディオ関連機器よりも上流側（柱上変圧器 / トランスに近い方）の電源に接続することをお勧めします。

### お知らせ

- ・家庭用電源コンセントに電源プラグを差し込んだ状態で、**電源入力 AC100V** 端子から電源コードを抜くと、感電する可能性があります。電源コードを接続するときは、最後に家庭用電源コンセントに接続し、抜くときは最初に家庭用電源コンセントから抜いてください。
- ・本機の電源を入れると、瞬間的に大きな電流が流れて、コンピューターなどの機器の動作に影響することがあります。コンピューターなど、繊細な機器とは別系統のコンセントに接続することをおすすめします。
- ・付属の本機専用電源コード以外は使用しないでください。
- ・電源コードをコンセントから抜くときは、本機の主電源をオフにしてから抜いてください。

## パソコンを USB 接続する

本機



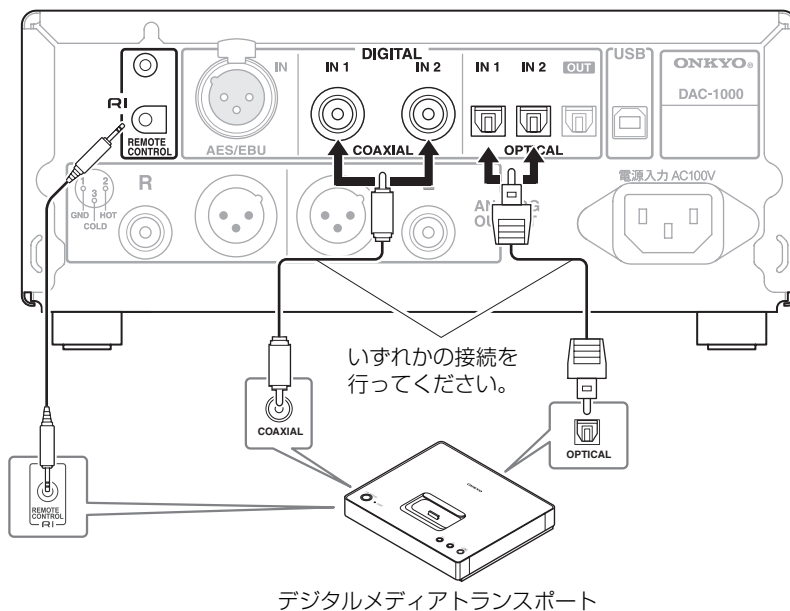
### お知らせ

- ・ご使用のパソコンと本機の **USB** 端子を繋いで、パソコンに保存している音楽ファイルの再生を行うには、弊社ホームページより USB ドライバをダウンロードして、パソコンにインストールする必要があります。
- ・パソコンが USB 規格 Rev 2.0 HS に準拠していないと、音声がでない場合があります。

USB ドライバのインストール手順詳細については弊社ホームページをご覧ください。

## オンキヨー製ドックを接続する

本機



### お知らせ

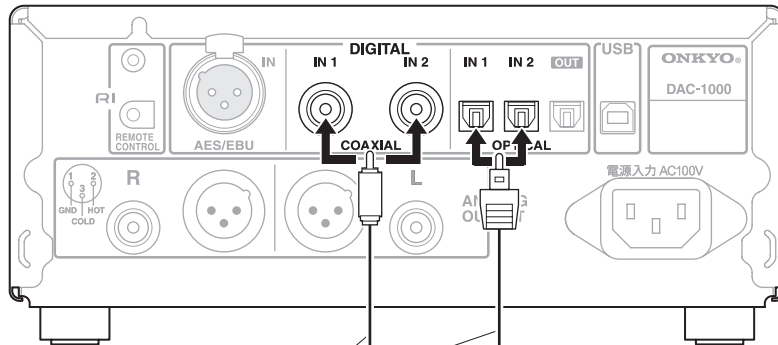
- ・ **RI** 機能を使用する場合、セレクトター名を変更する必要があります (→ 17)。
- ・ **RI** 端子にはオンキヨー製機器のみ接続してください。他の機器を接続すると故障の原因になります。
- ・ デジタル接続タイプのオンキヨー製ドックをご使用ください。

## CD プレーヤーを接続する

別売りのオンキヨー製コンパクトディスクプレーヤー C-7000R との接続例です。  
詳しくは、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

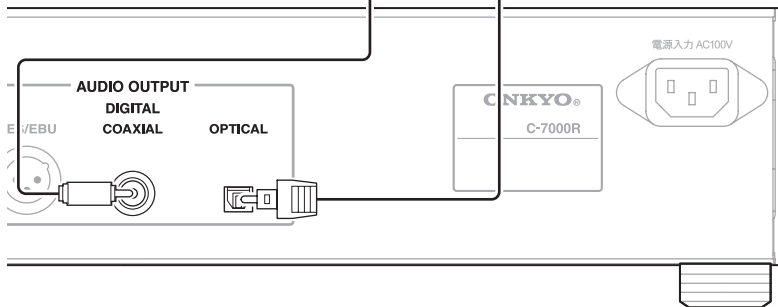
### デジタル (OPTICAL (光) または COAXIAL (同軸)) で接続する

本機



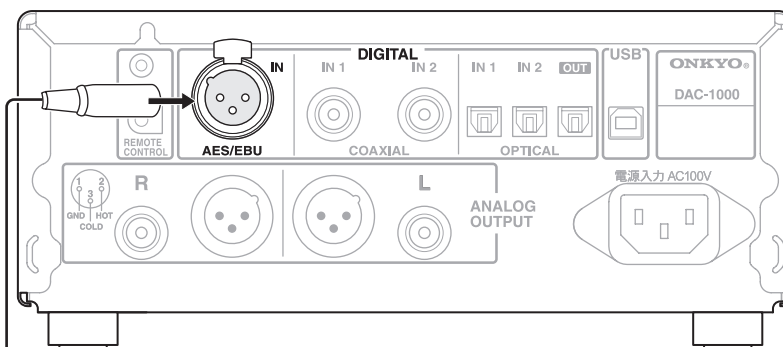
いずれかの接続を行ってください。

C-7000R

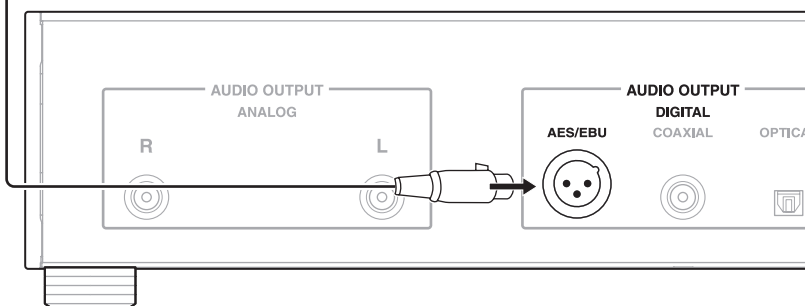


### デジタル (AES/EBU) で接続する

本機



C-7000R

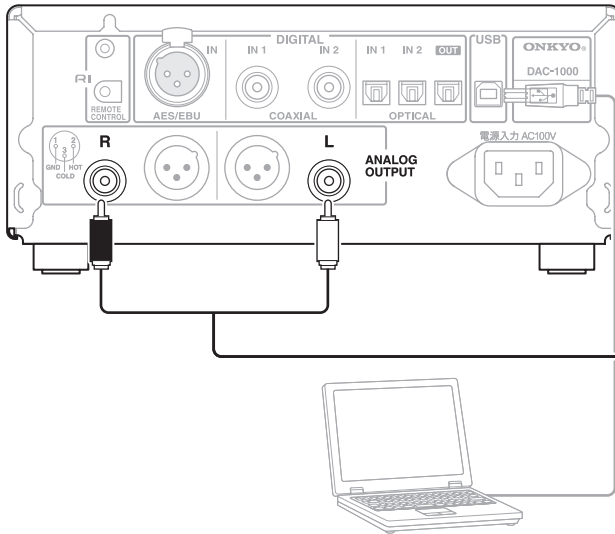


## AV コントローラーを接続する

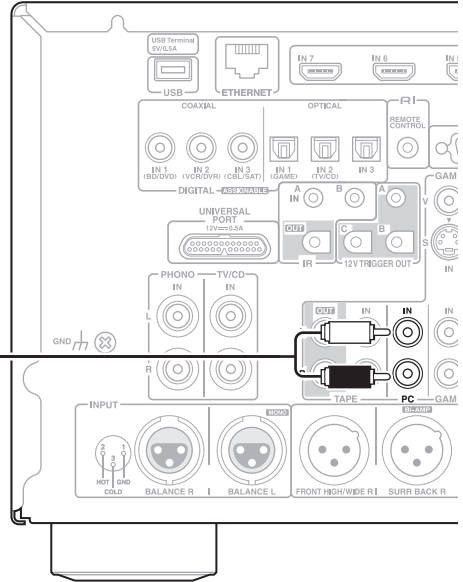
別売りのオンキヨー製 AV コントローラー PR-SC5508 との接続例です。  
詳しくは、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

### アナログ (RCA) で接続する

本機

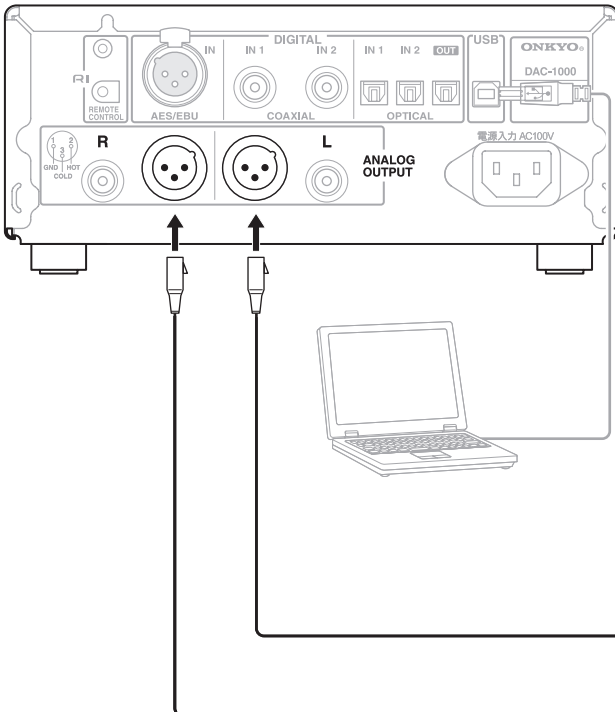


PR-SC5508

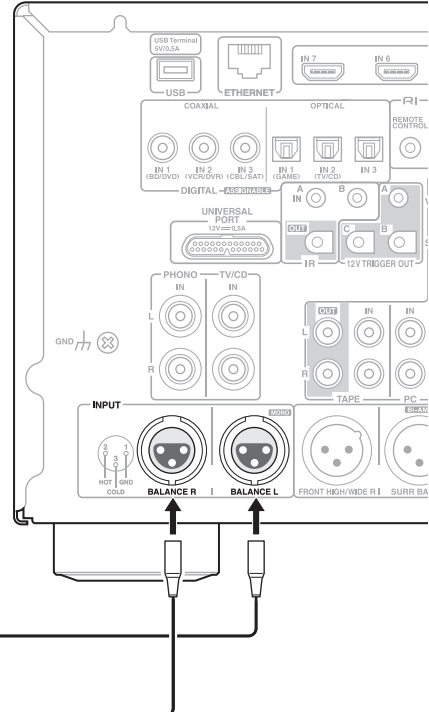


### XLR で接続する

本機

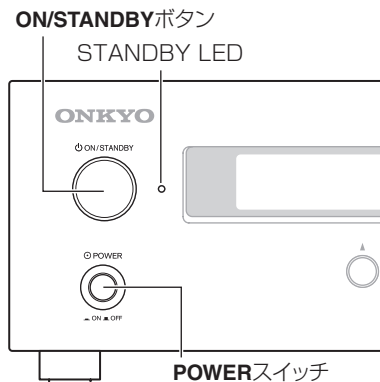


PR-SC5508



# 基本操作

## 本機の電源を入れる



1 **POWER** スイッチを押して (■)、主電源を入れる

2 **ON/STANDBY** ボタンを押す  
STANDBY LED が消え、表示部が点灯します。

前回選択していた入力セレクターが表示されます。

### お知らせ

- ・一定期間ウォーミングアップすると、本機の部品や内部温度が安定し、音が柔らかくなります。
- ・前回電源オフにしたときの状態を保持しています。

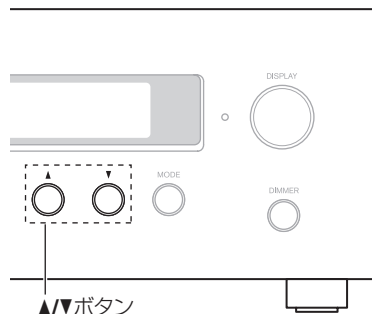
## 本機の電源を切る

- 1 **ON/STANDBY** ボタンを押す  
本機がスタンバイ状態になり、STANDBY LED が点灯します。
- 2 主電源を切るには **POWER** スイッチを押し、OFF (■) にする

### お知らせ

- ・自動スタンバイ機能については、「ASb (自動スタンバイ) を設定する」をご覧ください (→ 15)。

## 入力ソースを選択する



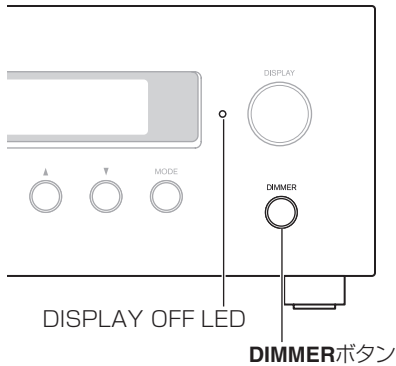
接続した機器 (コアキシャル、**COAXIAL**、**OPTICAL**、AES/EBU、**USB**) の入力ソースを選ぶことができます。

- 1 ▲/▼ ボタンで入力ソースを選ぶ  
入力ソースは、「COAX1 (初期値)」、「COAX2」、「OPT1」、「OPT2」、「AES/EBU」、「USB」です。

### お知らせ

- ・「セレクター」モードを選択している状態でのみ、入力の切換が可能です (→ 7)。
- ・**USB** 端子に接続されていない場合は、「USB」を選ぶことができません。

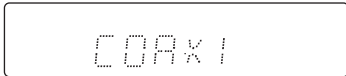
## 表示部の明るさを変える



表示部の明るさを変えることができます。

- 1** <sup>ディマー</sup> DIMMER ボタンをくり返し押し  
順番に表示管の明るさが変化します。  
普通→暗い→消灯

普通

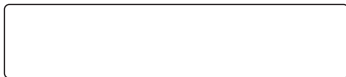


暗い

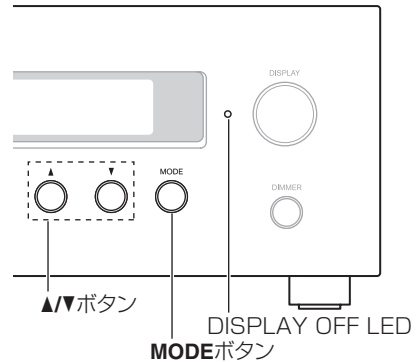


消灯

<sup>ディスプレイ</sup> <sup>オフ</sup> DISPLAY OFF LED が点灯します。  
本体キーを押すと、5 秒間一時的に  
点灯します。



## ASb (自動スタンバイ) を設定する



ASb (<sup>オート</sup> <sup>スタンバイ</sup> Auto Standby) をオンに設定したとき、  
音声入力がない状態で本機を 30 分間操作しない  
でいると、自動的にスタンバイ状態になります。

- 1** <sup>モード</sup> MODE ボタンをくり返し押し、表示部に  
「ASb」を表示させる

- 2** ▲/▼ ボタンを押して、設定する

- ▶ ASb ON :  
自動スタンバイを有効にします。
- ▶ ASb OFF (初期値) :  
自動スタンバイを無効にします。

一度自動スタンバイ機能でスタンバイ状態になると、  
信号を入力しても電源はオンになりません。

<sup>オン</sup> <sup>スタンバイ</sup> ON/STANDBY ボタンを押して、電源をオン  
にしてください。

### お知らせ

- ・スタンバイ状態になる直前の 30 秒間、<sup>ディスプレイ</sup> DISPLAY  
<sup>オフ</sup> OFF LED が点滅します。
- ・設定した ASb (自動スタンバイ) が作動すると、RI  
接続しているデジタルメディアトランスポートも自動  
的に電源がオフになります。
- ・設定中に 8 秒以上操作しないでいると、「セクター」  
モードになります。

# パソコンの音楽を再生する

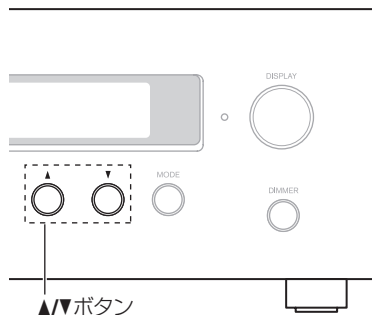
## USB ドライバをインストールする

ご使用のパソコンと本機の USB 端子を繋いで、パソコンに保存している音楽ファイルの再生を行うには、弊社ホームページより USB ドライバをダウンロードして、パソコンにインストールする必要があります。

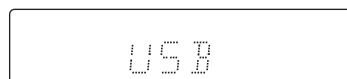
パソコンが USB 規格 Rev 2.0 HS に準拠していないと、音声がでない場合があります。

USB ドライバのインストール手順詳細については弊社ホームページをご覧ください。

## パソコン内の音楽ファイルを再生する



### 1 ▲▼ ボタンで「USB」を選ぶ



### 2 ご使用のパソコンを操作して、任意のアプリケーションを起動し、音楽ファイルを再生する

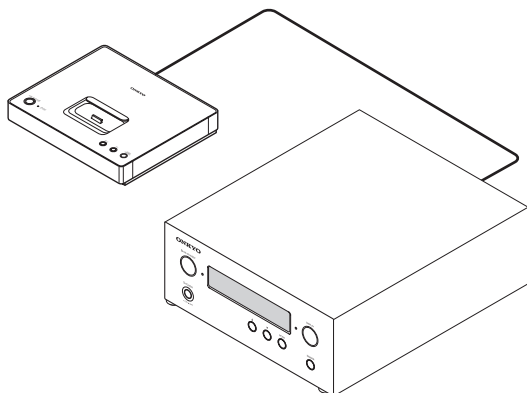
#### 📄 お知らせ

- ・パソコンの再生ソフトに対応していないファイル形式は出力されません。
- ・PCM のサンプリング周波数が 44.1 kHz またはそれ以下、88.2kHz または 176.4kHz の場合、自動的に 44.1 kHz で出力されます。
- ・USB ケーブルを抜くと表示部の USB セレクターが点滅します。
- ・ご使用のパソコンが USB 規格 Rev 2.0 HS に準拠していないと、音声がでない場合があります。



# オンキヨー製ドックを使う

## iPod に保存されている音楽ファイルを再生する



本機とデジタルメディアトランスポートを接続し、iPod の音楽ファイルを再生します。

iPod は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

## オンキヨー製ドック

デジタルメディアトランスポートは別売りです。デジタルメディアトランスポートの最新情報については、弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.jp.onkyo.com>

ご使用になる前に、必ずご使用の iPod を iTunes 経由で最新のバージョンにアップデートしてください。

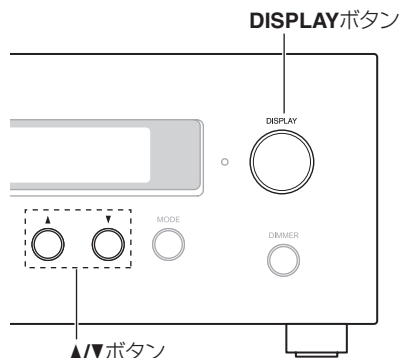
対応している iPod のモデルについては、デジタルメディアトランスポートの取扱説明書をご覧ください。

## デジタルメディアトランスポート

デジタルメディアトランスポートを使うと、簡単な操作で、iPod に保存した音楽をすばらしいサウンドで楽しむことができます。

デジタルメディアトランスポートでは、iPod から出力される音声信号をそのまま処理することによって、高品質のデジタル音声出力を実現しています（光または同軸）。

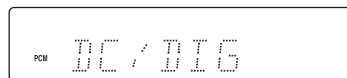
## DOCK セレクターに切り換える



DOCK セレクターとして動作させるため、セレクター名表示を **DC/DIG** (DOCK/DIGITAL) に切り換えます。

- 1 ▲/▼ ボタンで接続先に合わせて入力ソースを **COAX1**、**COAX2**、**OPT1**、**OPT2** から選ぶ

- 2 ディスプレイ **DISPLAY** ボタンを 3 秒以上長押しする  
「DC/DIG」が表示されます。



### ■ DC/DIGの割り当てを解除するには

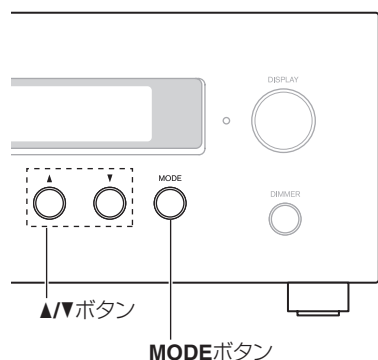
もう一度 **DISPLAY** ボタンを 3 秒以上長押しする。

### 📄 お知らせ

- ・デジタル入力ソース (**COAX1**、**COAX2**、**OPT1**、**OPT2**) の各入力切替ボタンで「DC/DIG」を選べますが、同時には選べません。

# サンプリング周波数を変換する

## サンプリング周波数を変換する



デジタル信号の fs（サンプリング周波数）を変換して、性能、音質を向上させることができます。

**1** モード **MODE**ボタンをくり返し押して、表示部に「FS」を表示させる

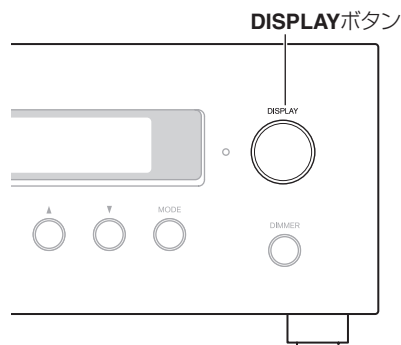
**2** ▲/▼ボタンで選ぶ

- ▶ バイパス **BYPASS**（初期値）：  
オリジナルのまま出力します。
- ▶ **FS x2**：  
2 倍に変換して出力します。
- ▶ **FS x4**：  
4 倍に変換して出力します。

### 📄 お知らせ

- ・サンプリング周波数が 176.4kHz を超える場合は、オリジナルのまま出力します。
- ・本機にデジタル入力された信号がスルー出力されます。
- ・**USB** 入力では、「FS x4」は対応していません。

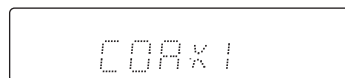
## 表示を切り換える



選択中のセレクターやソースのサンプリング周波数を表示させます。

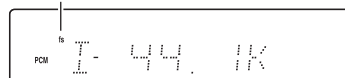
**1** ディスプレイ **DISPLAY**ボタンをくり返し押す  
順番に表示が切り換わります。

セレクター

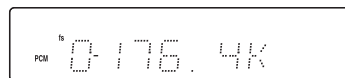


入力サンプリング周波数

fs 表示



出力サンプリング周波数



### 📄 お知らせ

- ・入出力サンプリング周波数はデジタル音声信号を入力しているときのみ表示されます。

# 困ったときは

## ■ お買い上げ時の状態に戻すには

まず、下記の内容を点検してみてください。

1. **MODE** ボタンを押したまま、  
モード  
**ON/STANDBY** ボタンを押します。  
オン スタンバイ
2. 表示部に「**CLEAR**」が表示されて、スタンバイ状態になります。

お買い上げ時の状態に戻すと、ユーザー設定が消去されます。

## 電源

### 電源が入らない

- ・電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください (→ 10)。
- ・一度電源プラグをコンセントから抜き、5 秒以上待ってから、再度コンセントに差し込んでください。
- ・本機の電源が入らない場合は、電源コードを抜いて、お買い上げ店またはオンキヨー修理窓口にご連絡ください。

### 本機の電源が切れる場合

- ・本機の電源が切れる場合は、電源コードを抜いて、お買い上げ店またはオンキヨー修理窓口にご連絡ください。
- ・ASb (Auto Standby) が作動すると、自動的にスタンバイ状態になります (→ 15)。

## 音声

### 音声が出力されない

- ・適切な入力ソースが選ばれていることを確認してください。
- ・接続した機器の入力端子 / 出力端子に間違いがないか確認してください。
- ・ファイルのフォーマットがサポートされているものか確認してください (→ 21)。
- ・ご使用のパソコンが USB 規格 Rev 2.0 HS に準拠していないと、音声が出ない場合があります。

### 音声の品質が悪い

- ・接続コードのプラグは奥まで差し込んでください。
- ・オーディオコードが雑音を拾っている可能性があります。コードの位置を変えてみてください。

### 音声性能

- ・10 ~ 30 分間ウォーミングアップすると、本機の部品や内部温度が安定し、音が柔らかくなります。
- ・コード留めを使ってオーディオ用ピンコード、電源コード、スピーカーコードなどを束ねると音質が劣化するおそれがあります。コードを束ねないようにしてください。

## パソコン再生

### パソコン内の音楽ファイルが再生できない。

- ・USB ケーブルが奥までしっかり差し込まれていることを確認してください (→ 11)。
- ・USB ドライバがインストールされていることを確認してください (→ 16)。

### サンプリング周波数が正しく表示されない

- ・PCM のサンプリング周波数が 44.1kHz またはそれ以下、88.2kHz または 176.4kHz の場合、自動的に 44.1kHz で出力されます。
- ・ファイルのフォーマットまたは信号がサポートされているものか確認してください (→ 21)。

## オンキヨー製ドック

### 音が出ない

- ・本機とデジタルメディアトランスポートが正しく接続されていることを確認してください (→ 11)。
- ・ビデオコンテンツが再生されていないことを確認してください。
- ・iPod をリセットしてください。

### その他

- ・再生中にカバーフロー操作をすると、ノイズが発生することがあります (→ 17)。
- ・自動スタンバイが作動すると、自動的にデジタルメディアトランスポートの電源が切れます (→ 17)。

### 連動しない

- ・R1 ケーブルが正しく接続されているか確認してください (→ 11)。
- ・セレクター名を変更してください (→ 17)。

## 接続機器

### 接続された機器から音が出ない

- ・入力ソースが正しく選ばれていることを確認してください (→ 14)。
- ・アナログ音声ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- ・接続コードのプラグは奥まで差し込んでください。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて、約 5 秒後にあらためて電源プラグを差し込んでください。

本機の電源コードをコンセントから抜くときは、本機の主電源をオフにしてから抜いてください。

# 主な仕様

## DAC-1000

### 音声部

周波数特性	2Hz ~ 48kHz : +0dB、- 0.5dB
全高調波歪率	0.003% (FS : 96kHz、1kHz)
SN比	116dB (FS : 96kHz)
出力電圧 / インピーダンス	RCA : 2.0 V (rms) / 330Ω XLR : 4.0 V (rms) / 660Ω
デジタル入力対応フォーマット	2ch PCM
デジタル入力サンプリング周波数	32kHz/44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHz (OPT) 32kHz/44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHz/176.4kHz/192kHz (COAX、AES/EBU) 44.1kHz/48kHz/96kHz/192kHz (USB)
デジタル出力サンプリング周波数	32kHz/44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHz (OPT)

### 総合

電源・電圧	AC100V、50/60Hz
消費電力	15W
待機時消費電力	0.15W
最大外形寸法	215 (幅) × 93.3 (高さ) × 295.2 (奥行) mm
質量	3.7kg

### ■ 音声入力

デジタル	OPTICAL : 2 COAXIAL : 2 AES/EBU : 1
------	---

### ■ 音声出力

デジタル	OPTICAL : 1
アナログ	RCA : 1 XLR : 1

### ■ その他

PC インターフェース	USB
-------------	-----

### 動作環境

OS	Windows® 7 (32/64 ビット)/Windows Vista® (32/64 ビット)/ Windows® XP (32/64 ビット) SP3 以降
CPU	Intel® 製 Pentium® 4 プロセッサ 1.6GHz 以上
メモリ	512MB 以上の空きメモリ
HDD	60MB 以上の空き容量
対応機種	USB 規格 Rev2.0 HS に準拠した USB ポート標準装備の PC/AT 互換機 (Intel® 製 USB ホストコントローラー推奨)

Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

仕様および外観は予告なく変更することがあります。

メモ



# 修理について

## ■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。

所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

## ■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。

この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名 DAC-1000
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

## ■オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

## ■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

## ■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

## ■補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。  
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日： \_\_\_\_\_ 年 月 日

ご購入店名： \_\_\_\_\_

Tel. \_\_\_\_\_ ( ) \_\_\_\_\_

メモ：

# ONKYO®

オンキョー株式会社

本社 大阪府寝屋川市日新町2-1 〒572-8540

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：コールセンター

☎ 050-3161-9555 (受付時間 10:00~18:00)

(土・日・祝日・弊社の定める休業日を除きます)

サービスとサポートのご案内： <http://www.jp.onkyo.com/support/>

Y1011-1

SN 29400541

(C) Copyright 2010 ONKYO CORPORATION Japan. All rights reserved.



\* 2 9 4 0 0 5 4 1 \*